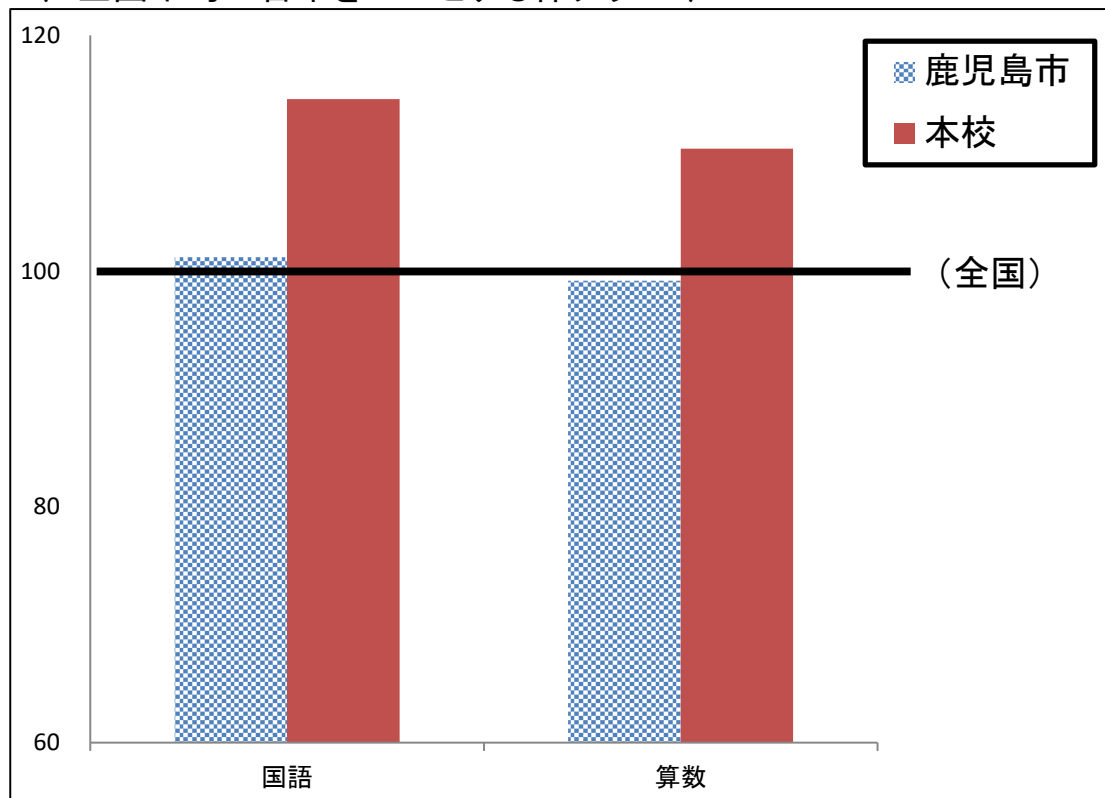


令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

皆与志小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

全体的には、全国の通過率を上回り、基礎基本が定着してきていると思われます。

【児童質問紙より】

国語科・算数科に対する興味・関心としては、どちらの教科も学習の大切さや将来役に立つ科目だという認識は高いものの、その教科が好きかと問われると、あまり好きでないと回答する割合が高い傾向にありました。今後は、子供たちが「何ができるようになったか」という主体的な学びや協働的な学びにつながるような授業改善を行い、「できた」という達成感を味わわせる必要があります。また、子供たちには日頃から自分の良いところや友達の良いところを意識させ、一人一人を大事にする教育活動を推進することで、自己有用感を高め、規範意識が醸成できると考えます。ご家庭でもぜひ子供たちの良いところを具体的にほめる機会を設けてください。

【国語】

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題では、与えられた文字数内で自分の考えをまとめることができていました。

しかし、文章の種類とその特徴について理解することに課題が見受けられました。日常生活で児童が触れることの多い文章(推薦する文章、提案する文章、説明する文章など)について、文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解させていきます。また、話し手の目的や自分の意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題が見受けられました。話し手の考えと自分の考えとを比較して共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめるような活動を取り入れていきます。

【算数】

正三角形の意味や性質についてはよく理解できていましたが、テープを切って開いたという条件に着目できておらず、開く前は重なっているので、角度が半分になるということが理解できていませんでした。また、高さや底辺の長さが等しい三角形は、面積が等しいことは理解していますが、具体的な数値が提示されていなくても、この性質が利用できることを理解できていませんでした。

図形領域に関しては、直線の平行や垂直の関係と、図形を構成する要素などを関連付けて図形の性質や図形の計量について考察できるよう、テープを折ったり切ったりして、複数のつくり方を比較して、その結果を考えるような活動を行っていくようにします。